



はぎ

第170号

令和7年7月1日

発行者

社会福祉法人 日吉たには会
〒629-0311

京都府南丹市日吉町胡麻萩原15番地
Tel 0771-72-1500

題字：小林 茂子（老人保健施設）

殿田小学校4年生が通所リハビリテーションに来所



5月23日（金）殿田小学校4年生の皆さんが総合的な学習の時間『高齢者福祉』を学ぶため、通所リハビリテーションに来てくださいました。児童の皆さんはご利用者と一緒に体操やレクリエーションに参加されました。その後の質問コーナーでは、児童からの「一日の中で一番好きなことは何ですか？」の問いに、ご利用者が「ここにきてみんなと話をしたり、レクリエーションをしたりすることが好きです。」と、答えておられました。職員へも「介護にあたって大切にしていることは？」など介護に関する質問がいくつかあり、職員が回答していました。

今回の訪問が今後の学びの助けになればと思います。

～ 目 次 ～

- P 1 通所リハビリテーション
殿田小学校4年生来所
- P 2 デイサービス他
日々の取り組み
- P 3 後援会総会報告
介護福祉士合格者から
未来の受験者へ
- P 4 「ありがとうございました」
「利用状況」「ひとりごと」

社会福祉法人日吉たには会

法人理念

「利用者本位」「誠実」「貢献」

行動指針

- ①すべての人に、「まごころ」を持ち対応します
- ②ご利用者の思いを察し、喜びと安らぎを提供します
- ③福祉専門職として、良質なサービスを提供します
- ④笑顔あふれる、明るい未来に向けた事業を展開します
- ⑤地域福祉の中核となり、住みよい社会づくりに貢献します。

日々の取り組み報告

今回はデイサービス、老健の日々のご様子の一コマをご紹介します。

デイサービス —園芸活動—

デイサービスでは、今年も園芸活動の一環として、さつまいもの苗を畑に植えました。今年は畑作りから利用者の方と一緒に作業を行い、みなさま、慣れた手つきで草引きや畝作りに取り組まれ、良い気分転換や活動になりました。気は早いですが、今から収穫が楽しみです。



老人保健施設 —3階季節の飾りづくり—

3階ではリハビリ専門職による作業療法の一環として廊下の壁面を飾る装飾を作っています。つばめ、紫陽花、七夕等、ご利用者で分担され、季節を感じる作品になっています。



—2階集団体操—

2階ではリハビリ専門職による集団体操を行っています。曜日によって体操の内容が違っており、棒を使った体操・うたを歌う体操・みんなで集まって手足を使う体操など様々です。どの体操も皆さん楽しく参加されています！



ふれあいホームを支えてくださった皆様

ふれあいホーム開設当初より毎月、施設周辺の清掃作業を近くで工房をされている波多野錦綴織工房様や地域のボランティアにお世話になっていましたが、高齢化等による工房の職員様の減少により定期的なボランティアは終了されることとなりました。猛暑の中、北風吹く厳寒の中、毎月変わらず、職員もいつも清潔感にあふれきれいで快適に過ごさせていただきました。長きにわたるご協力につきまして心より感謝申し上げます。

未来の介護福祉士の皆さまへ



～ 合格者からのメッセージ ～

今年度、はぎの里では1名の職員が介護福祉士の試験に合格されました。合格までの道のりで得た知識と経験は、今後の糧となることと思います。

合格された職員から、試験に向けて努力したことや今後の抱負、これから介護福祉士を目指す方へのメッセージをいただいたのでご紹介させていただきます。

9e.....9e

はぎの里で3年間、利用者さんの気持ちに寄り添うことを考えて介護の仕事をしてきました。介護福祉士の資格は、必ず必要というわけではないけれど、あった方が良いなと思い試験を受けました。それは、介護という仕事に関する知識を持つということだけではなく、その責任を自覚することで、もっとやりがいが増すと考えたからです。資格があるということは、信頼を受けているということで、その分しっかりとやらないといけないという気持ちになれます。

資格を取ったからと言って、急に仕事が上手くできるようになるわけではなく、それで終わりというわけでもありません。自分の責任を果たすために、もっと勉強を続けて、知識と経験を増やしていかなければいけないなと、思っています。

通所リハビリテーション 井尻浩嗣

～ はぎの里後援会よりお知らせ ～

令和7年度の総会にて下記の新役員体制となりました。よろしくお願い致します。（敬称略）

会 長	廣瀬 健一	幹事	上保野田	湯浅 勝敏	幹事	佐々江	中田貴美子
副会長	出野 比啓	幹事	下保野田	井尻 正美	幹事	西胡麻	塩貝はやみ
副会長	井尻 正美	幹事	志和賀	船越 充子	幹事	西胡麻	出野 比啓
監 事	湯浅 輝和	幹事	殿 田	井尻 和夫	幹事	西胡麻	塩貝美千穂
監 事	湯浅 勝敏	幹事	中世木	湯浅 誠	幹事	東胡麻	小林 康
		幹事	木 住	湯浅 輝和	幹事	広 野	四方 博
		幹事	生 畑	船越 和代	幹事	上胡麻	小南玖仁子
		幹事	田 原	藤井 博幸	幹事	畑 郷	和久田哲夫
		幹事	四ツ谷	廣瀬 健一	幹事		

後援会では、はぎの里の行事協力や事業運営に必要な備品寄贈を行い、年1回の総会時には会員交流も目的に研修会を実施しています。また、220名を目標に会員増員に向け取り組んでいます。加入のお問い合わせは、各地域の幹事の皆様にお声かけください。

後になりましたが、永年、後援会を支えて下さいました役員の皆様に心よりお礼申し上げます。誠にありがとうございました。

☆ありがとうございました

4月11日から6月10日まで（順不同・敬称略）

前田時男 波多野錦綴織工房 モリモト美容室 美容室HANA サロン・ド・あみ ヘアークラフト
カツダ カットサロンうえはら

その他、お世話になりました皆様、ご利用者・ご利用者家族の皆様、誠にありがとうございました。

利用状況

特別養護老人ホームはぎの里
1 介護老人福祉施設（長期入所）

定員50名	4月	5月
月末入所者数	45	44
月平均入所者数	45.3	43.6

第一ケアハウスはぎの里

定員25名	4月	5月
月初入居者数	18	18

第二ケアハウスはぎの里

定員32名	4月	5月
月初入居者数	29	27

はぎの里ケアプランセンター

	4月	5月
居宅介護計画作成件数	76	73
介護予防計画作成件数	25	26
介護予防ケアマネジメントA	9	10

2 短期入所生活介護（ショートステイ）はぎの里訪問リハビリテーション事業所

定員10名	4月	5月
延利用者数	52	50
1日平均利用者数	8.0	7.6

	4月	5月
利用実人員	5	5
訪問延回数	36	36

3 地域密着型通所介護（デイサービス）

定員18名	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	計
4月 延利用者	61	57	71	80	71	59	399
1日平均	15.3	14.3	14.2	16.0	17.8	14.8	15.4
5月 延利用者	57	63	56	62	87	84	409
1日平均	14.3	15.8	14.0	15.5	17.4	16.8	15.6
合計 延利用者	118	120	127	142	158	143	808
1日平均	14.8	15.1	14.1	15.8	17.6	15.8	15.5

はぎの里訪問介護事業所

	4月	5月
利用実人員	20	18
訪問延回数	126	134
身体介護	18	26
身体・生活	15	21
生活援助	52	59
総合事業	41	28

老人保健施設はぎの里

1 介護老人保健施設（長期入所）

定員100名	4月	5月
月末入所者数	80	79
月平均入所者数	78.8	78.1

2 短期入所療養介護（ショートステイ）

長期空室利用	4月	5月
延利用者数	6	5
1日平均利用者数	1.2	1.0

はぎの里ふれあいホーム
（小規模多機能型居宅介護）

定員12名	4月	5月
利用実人員	5	5
利用延回数	88	63
通い	14	6
訪問	74	57
泊まり	0	0

はぎの里オアシス

1 地域密着型介護老人福祉施設

定員20名	4月	5月
月末入所者数	18	18
月平均入所者数	18.0	18.0

2 認知症対応型共同生活介護

定員18名	4月	5月
月末入所者数	18	16
月平均入所者数	17.3	16.6

3 通所リハビリテーション（デイケア）

定員30名	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	計
4月 延利用者	94	122	114	90	101	91	612
1日平均	23.5	24.4	22.8	22.5	25.3	22.8	23.6
5月 延利用者	103	97	94	110	120	102	626
1日平均	25.8	24.3	23.5	22.0	24.0	20.4	23.3
合計 延利用者	197	219	208	200	221	193	1,238
1日平均	24.7	24.4	23.2	22.3	24.7	21.6	23.4



はぎの里では職員を募集しております！

当法人では、介護未経験者であっても安心して働いていただけるように研修制度が充実しており、また、職員の健康管理、休暇制度、育児・介護の両立、出産後復帰などの取り組みを実施しています。施設見学についても随時対応させていただきますので、介護・看護職での仕事をお探しの方は、お気軽にお問い合わせください。



ひとりごと

去年の今頃、施設駐車場に停めていた私の車のボンネットに子猫が入り込んでしまいました。最初は気づかず、しばらく走ってから子猫の鳴き声に気づきました。途中、タイヤの隙間から落ちたりしないかと心配しながら自宅まで何とか無事に連れて帰りました。あれからちょうど1年！！今では我が家の家族でアイドルで癒します。夫や子供達も猫が好きだったのでこれも我が家に引取られる運命だったのかなと思っています。